

## 令和 7 年度電気技術者資質向上事業の実施結果

令和 8 年 3 月 1 6 日

「電気技術者資質向上事業」は、関係機関が実施を計画する電気技術者の資質向上を目的とする事業(以下、「資質向上事業」という。)を支援すること等により、当事業の着実な実施、さらなる普及・拡大等を通じて、電気技術者の資質の向上を図り、もって我が国の電気保安の確保に寄与することを目的に実施した。

令和 7 年度の事業実施結果は、次のとおり

## 1. 経過

令和 7 年 4 月 1 日～1 0 月 3 1 日の間、当試験センターホームページで提案を募集したところ次の 1 2 件の申請があった。

・令和 7 年 4 月 2 0 日

次の 1 件の採択が適当とされた。

① 「第 5 4 回全九州技能競技大会」

(一般社団法人全九州電気工事業協会)

・令和 7 年 5 月 2 日

次の 2 件の採択が適当とされた。

① 「令和 7 年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門」

(高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門実行委員会)

② 「第 2 5 回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門」

(北海道工業高等学校長協会)

・令和 7 年 5 月 2 1 日

次の 1 件の採択が適当とされた。

① 「第 2 1 回高校生ものづくりコンテスト四国大会 (電気工事部門)」

(四国工業教育研究会)

・令和 7 年 5 月 2 2 日

次の 2 件の採択が適当とされた。

① 「令和 7 年度第 2 4 回高校生ものづくりコンテスト東海大会電気工事部門」

(東海地区工業高等学校長教育研究会)

② 「高校生ものづくりコンテスト電気工事部門北信越大会」

(北信越工業高等学校長協会)

・令和7年6月9日

次の1件の採択が適当とされた。

① 「第37回引込および内線工事技能オリンピック大会」

(中部電気工事協力会連合会)

・令和7年6月12日

次の1件の採択が適当とされた。

① 「第30回配電工事安全技能競技会」

(北陸電気工事組合連合会)

・令和7年6月25日

次の1件の採択が適当とされた。

① 「高校生ものづくりコンテスト2025東北大会【秋田大会】[電気工事部門]」

(東北地区工業高等学校長会)

・令和7年6月27日

次の1件の採択が適当とされた。

① 「令和7年度第24回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト山梨大会 兼  
第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会」

(関東甲信越地区電気教育研究会)

・令和7年7月3日

次の1件の採択が適当とされた。

① 「第24回高校生ものづくりコンテスト九州地区大会」

(九州地区工業高等学校長協会)

・令和7年10月24日

次の1件の採択が適当とされた。

① 「第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会電気工事部門」

(公益社団法人全国工業高等学校長協会)

## 2. 支援対象事業の実施結果

申請のあった12事業のうち12事業が実施された。

- ① 「第25回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門」  
(北海道工業高等学校長協会)  
令和7年5月21日～22日に実施 表1参照
- ② 「令和7年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門」  
(高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門実行委員会)  
令和7年6月21日に実施 表2参照
- ③ 「第21回高校生ものづくりコンテスト四国大会(電気工事部門)」  
(四国工業教育研究会)  
令和7年6月21日に実施 表3参照
- ④ 「第24回高校生ものづくりコンテスト九州地区大会」  
(九州地区工業高等学校長協会)  
令和7年7月12日～13日に実施 表4参照
- ⑤ 「高校生ものづくりコンテスト2025東北大会【秋田大会】[電気工事部門]」  
(東北地区工業高等学校長会)  
令和7年7月19日～20日に実施 表5参照
- ⑥ 「令和7年度第24回高校生ものづくりコンテスト東海大会電気工事部門」  
(東海地区工業高等学校長教育研究会)  
令和7年8月23日に実施 表6参照
- ⑦ 「令和7年度第24回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト山梨大会 兼  
第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会」  
(関東甲信越地区電気教育研究会)  
令和7年8月23日に実施 表7参照
- ⑧ 「高校生ものづくりコンテスト電気工事部門北信越大会」  
(北信越工業高等学校長協会)  
令和7年8月29日～30日に実施 表8参照

- ⑨ 「第30回配電工事安全技能競技会」  
(北陸電気工事組合連合会)  
令和7年10月30日に実施 表9参照
- ⑩ 「第37回引込および内線工事技能オリンピック大会」  
(中部電気工事協力会連合会)  
令和7年11月6日に実施 表10参照
- ⑪ 「第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会電気工事部門」  
(公益社団法人全国工業高等学校長協会)  
令和7年11月8日～9日に実施 表11参照
- ⑫ 「第54回全九州技能競技大会」  
(一般社団法人全九州電気工事業協会)  
令和7年11月21日～22日に実施 表12参照

### 3. その他

令和8年度電気技術者資質向上事業募集要項は、別途、当試験センターのホームページに掲載します。

表 1

項 目	内 容
支援事業名	第25回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門
目 的	全道の各工業高等学校で取り組んでいる電気工事分野でのものづくりの学習効果の発表の場として、全道の工業高校生が技術・技能を競い合う北海道大会を開催し、選抜された代表者を「高校生ものづくりコンテスト全国大会」及び「若年者ものづくり競技大会」、「電気工事技能競技全国大会」に出場させ、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、若年技術・技能者の育成を図ることを目的とする。
実施期間	令和7年5月21日～22日
開催場所	北海道旭川工業高等学校
主 催	北海道工業高等学校長協会 北海道高等学校工業クラブ連盟
後 援	北海道教育委員会 北海道産業教育振興会 北海道の工業教育を推進する会 一般財団法人札工振興会
協 賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>審査員は、実際の電気工事の経験を持ち指導員として従事する外部技術審査員(道内各地区電気工事業協同組合の技術者)を含め審査を実施する。</p> <p>(審査の基本的視点・採点方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保安面から見た施工状況</li> <li>・美観を含めた施工技術</li> <li>・安全作業、作業態度</li> <li>・欠陥項目ごとの減点方式</li> <li>・審査対象は、すべての工事が完成しているもの</li> <li>・工事未完成のものは、審査対象外とする</li> <li>・点灯および導通試験の結果、不点灯、短絡したものは失格とする</li> </ul> <p>・表彰(表彰構成、表彰賞品等)      最優秀賞 1名 賞状・トロフィー      優秀賞 1名 賞状      優良賞 2名 賞状</p> <p>本大会については、高校生を対象とした大会であることから、試験センターの特別賞の授与による支援を希望する。</p>
参加者数	参加選手人数:6名 審査員人数:7名 運営事務局人数:3名 その他:5名
支援の内容	開催経費のうち、設営・機材費等の一部330千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 1

第 25 回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門

(北海道工業高等学校長協会)

実施日：令和 7 年 5 月 21 日～22 日

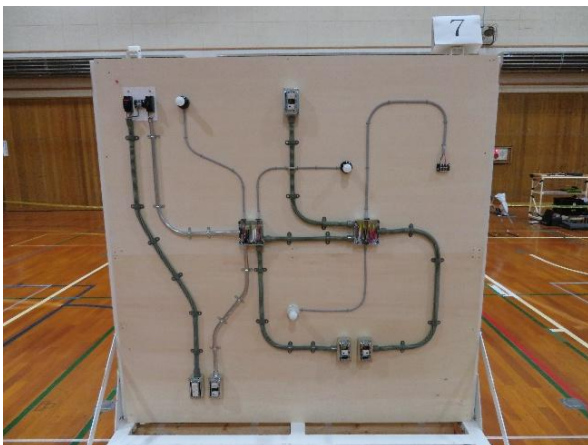
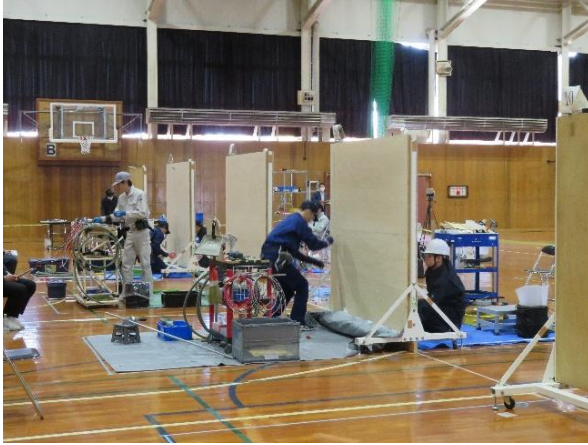


表 2

項 目	内 容
支援事業名	令和7年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門
目 的	中国5県の各工業高等学校で取り組んでいるものづくりの電気工事分野において、日々の学習で積み上げた技術・技能を競い合う場として、中国地区大会を開催する。中国地区大会での上位入賞者を「高校生ものづくりコンテスト全国大会」及び「若年者ものづくり競技大会」に出場させ、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、若年技術・技能者の育成を図る。
実施期間	令和7年6月21日
開催場所	防府地域職業訓練センター
主 催	山口県工業教育研究会
後 援	山口県産業教育振興会
協 賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 1年に1回、中国地区で開催している。令和7年度で20回を数え、今後も継続した事業の実施を計画している。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 中国5県の、全国工業高等学校長協会会員校に在籍している全日制、定時制の工業科の生徒で、各県大会で2位以上になった生徒。ただし、開催県は4位以上の生徒。</p> <p>③競技方法・競技内容 縦1,800×横1,800の作業パネルに、与えられた屋内配線図と材料を用いて、電気設備の施工を想定した配線工事を行う。</p> <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) (株)中電工職員、山口県電気工事工業組合員による審査 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・美観も含めた施工技術 ・審査対象は全ての工事が完成しているもの ・安全作業、安全態度 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは大減点する。</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 第1位、第2位、第3位 本大会については、高校生を対象とした大会であることから、試験センターの特別賞の授与による支援を希望する。</p>
参加者数	参加選手人数:12名 審査員人数:4名 運営事務局人数:30名 その他:34名
支援の内容	開催経費のうち、会場費等の一部260千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表2

## 令和7年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門

(高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門実行委員会)

実施日：令和7年6月21日



表 3

項 目	内 容
支援事業名	第21回高校生ものづくりコンテスト四国大会(電気工事部門)
目 的	公益社団法人全国工業高等学校長協会で行っている高校生ものづくりコンテスト電気工事部門で、四国3県から選抜された6名が技術・技能を競い合い、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、及び若年技術者の育成を図ることを目的とする。
実施期間	令和7年6月21日
開催場所	徳島県立徳島科学技術高等学校
主 催	四国工業教育研究会(徳島県立つるぎ高等学校)
後 援	徳島県教育委員会
協 賛	一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成11年から毎年で実施している大会(令和2年度のみ中止)であり、四国地区の3県(徳島、愛媛、高知)が順番に開催地として大会運営に当たる。2024年から2025年大会は徳島県で実施する。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 各県の選抜者2名(徳島・高知・愛媛)計6名 四国の工業系学科を置く高等学校に在学する生徒</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技<input type="checkbox"/> 技能競技<input checked="" type="checkbox"/>) 第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会(電気工事部門)に準じて設定。競技時間120分。「競技規則」に従い、「施工図」、「施工条件」に示す電気設備の施工を想定した配線工事を行う。</p> <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 株式会社四電工(技能五輪出場選手等)に依頼 (審査の基本的視点・採点方法) a法令等の遵守(関係法令等に適合の有無を採点) b基本事項(競技課題との相違の有無を採点) c一般事項(競技規則及び選手心得の遵守の有無を採点) d作業時間(作業時間について採点) e出来映え(出来映えについて審査委員が評価) ・工事未完成のものは審査対象外、点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 優勝、準優勝、奨励賞について賞状を授与する。優勝者1名が高校生ものづくりコンテスト全国大会へ出場する。 本大会については、高校生を対象とした大会であることから、試験センターの特別賞の授与による支援を希望する。</p>
参加者数	参加選手人数:6名 審査員人数:6名 運営事務局人数:33名 その他:23名
支援の内容	開催経費のうち、設営・機材費等の一部330千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表3

第21回高校生ものづくりコンテスト四国大会（電気工事部門）

（四国工業教育研究会）

実施日：令和7年6月21日



表 4

項 目	内 容
支援事業名	第24回高校生ものづくりコンテスト九州地区大会
目 的	公益社団法人全国工業高等学校長協会で行っている高校生ものづくりコンテストの電気工事部門で、九州各県から選抜された8名が技術・技能を競い合い、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、及び若年技術者の育成を図ることを目的とする。
実施期間	令和7年7月12日～13日
開催場所	佐賀県立鳥栖工業高等学校
主 催	九州地区工業高等学校長協会(佐賀県立鳥栖工業高等学校)
後 援	佐賀県産業教育振興会、佐賀県高等学校教育研究会工業部会
協 賛	一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成12年から毎年で実施している大会(令和2年度のみ中止)であり、九州地区に属する都道府県が順番に開催地として大会運営に当たる。2023年度から2025年度までの大会は佐賀県で実施する</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 九州地区に属する各県で県大会を実施し、各県で選抜された1名の代表による。</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技<input type="checkbox"/> 技能競技<input checked="" type="checkbox"/>) 技能競技:第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会(電気工事部門)に準じて設定。競技時間120分。「競技規則」に従い、「施工図」、「施工条件」に示す電気設備の施工を想定した配線工事を行う。</p> <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 審査員は、外部技術審査員(株式会社九電工、佐賀県産業技術学院、佐賀県電気工業事業組合の技術者)4名により、審査基準に基づき審査を実施。 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 第1位から第3位までを表彰(賞状、盾、メダルの授与) 本大会については、高校生を対象とした大会であることから、試験センターの特別賞の授与による支援を希望する。</p>
参加者数	参加選手人数:8名 審査員人数:4名 運営事務局人数:30名 その他:100名
支援の内容	開催経費のうち、設営・機材費等の一部863千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 4

## 第 24 回高校生ものづくりコンテスト九州地区大会

(九州地区工業高等学校長協会)

実施日：令和 7 年 7 月 12 日～13 日



表 5

項 目	内 容
支援事業名	高校生ものづくりコンテスト2025東北大会【秋田大会】[電気工事部門]
目 的	東北地区内の工業高校生の電気工事に関する技術・技能の向上と相互交流を図る。また、高校生ものづくりコンテスト全国大会の選手選考を兼ねる。
実施期間	令和7年7月19日～20日
開催場所	ポリテクセンター秋田
主 催	東北地区工業高等学校長会
後 援	秋田県教育委員会 秋田県産業教育振興会 一般社団法人日本電気協会東北支部 株式会社ユアテック 学校法人片柳学園
協 賛	一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成13年の第1回高校生ものづくりコンテスト全国大会[電気工事部門]から参加を続けており、東北エリアの代表権を得るための大会を年1回実施している。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 東北6県において県の代表権を取った選手6名と開催県枠1名の計7名が出場できる。</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技<input type="checkbox"/> 技能競技<input checked="" type="checkbox"/>) ・高校生ものづくりコンテスト全国大会の課題に準じた内容を、東北大会においても行う。 ・競技時間120分で、1名で完成させる個人競技とする。 ・「競技規則」に従い、「配線図」「施工条件」に示す電気設備を想定した配線工事を行う。</p> <p>④審査方法(審査員の構成及び審査員資格要件等) ・審査員は2名で構成し、日本電気協会東北支部へ派遣依頼をし、株式会社ユアテックの技術者が審査を行う。 ・審査の基本的観点 (1)保安面から見た施工状況(2)美観を含めた施工技術(3)安全作業、作業態度 ・採点方法 (1)欠陥項目ごとの減点方式(2)審査対象は、すべての工事が完成しているもの (3)工事未完成のものは、審査対象外(4)点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 1位から3位までを表彰する。表彰は、賞状と楯とする。 本大会については、高校生を対象とした大会であることから、試験センターの特別賞の授与により支援を希望する。</p>
参加者数	参加選手人数:7名 審査員人数:3名 運営事務局人数:23名 その他:30名
支援の内容	開催経費のうち、会場費等の一部303千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表5

高校生ものづくりコンテスト2025東北大会【秋田大会】〔電気工事部門〕

(東北地区工業高等学校長会)

実施日：令和7年7月19日～20日



表 6

項 目	内 容
支援事業名	令和7年度第24回高校生ものづくりコンテスト東海大会 電気工事部門
目 的	全国工業高等学校長協会主催「高校生ものづくりコンテスト全国大会」および中央職業能力開発協会主催「若年者ものづくり競技大会」の予選を兼ねた、東海地区の4県から選抜された選手が技術・技能を競い合う大会の実施により、東海地区工業高校生ものづくり技術・技能の一層の向上を図る。
実施期間	令和7年8月23日
開催場所	株式会社トーエネック教育センター
主 催	東海地区工業高等学校長教育研究会
後 援	一般社団法人日本電設工業協会東海支部 一般社団法人愛知電業協会 一般社団法人三重電業協会 一般社団法人岐阜電業協会 一般社団法人静岡県電業協会
協 賛	株式会社トーエネック パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 株式会社ニチフ 矢崎エナジーシステム株式会社 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成14年から毎年開催され、今回で第23回目の大会である。東海地区に属する4県が順番で大会運営を行い、今回は岐阜県が担当。 ②参加選手の構成及び参加資格要件等 東海地区工業高等学校長教育研究会に所属する高校生による各県の予選会を実施し、各県上位2名、開催県上位3名の合計9名が参加。 ③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 電気工事 筆記競技□ 技能競技☑) 第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会の競技課題に準ずる。概ね、縦1,820mm×1,820mm(床上約300mm)の垂直パネルに、「競技規則」に従い、「施工図」、および「施工条件」に示す配線工事を行う。 ④審査方法(審査員の構成及び審査員資格要件等) 審査員は中部電力パワーグリッド株式会社及び株式会社トーエネックの技能五輪コーチ及び技能五輪選手経験のある6名により、審査基準に基づき審査を実施。 ・法令等の遵守、関係法令等の適合の有無 ・競技課題との相違の有無 ・作業時間、作業態度 ・持ち点100点からの減点方式 ⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 優勝、準優勝、3位(東海地区工業高等学校長教育研究会)賞状 金賞、銀賞、銅賞(日本電設工業協会東海支部長賞)賞状・メダル 本大会については、高校生を対象とした大会であることから、試験センターの特別賞の授与により支援を希望する。
参加者数	参加選手人数:9名 審査員人数:6名 運営事務局人数:16名 その他:30名
支援の内容	開催経費のうち、設営・機材費等の一部296千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 6

令和7年度第24回高校生ものづくりコンテスト東海大会電気工事部門

(東海地区工業高等学校長教育研究会)

実施日：令和7年8月23日



表 7

項 目	内 容
支援事業名	令和7年度第24回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト山梨大会 兼 第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会
目 的	近年、若者の製造業離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれている。我が国の持続的発展を維持するためには、産業を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者を確保し、育成することが急務である。関東甲信越地区電気教育研究会では、各高等学校で取り組んでいる、ものづくりの学習効果の発表の場として、関東地区(山梨県含む・長野と新潟は除く)高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会を企画し、過去23回実施した。
実施期間	令和7年8月23日
開催場所	山梨県立峡南高等技術専門校
主 催	関東甲信越地区電気教育研究会
後 援	山梨県教育委員会 関東地区工業高等学校長会 山梨県電気工事工業組合 一般社団法人東京電業協会 関電工株式会社
協 賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成13年(2001年)に第1回大会が開催され、その後毎年実施している。(新型コロナウイルス感染症による中止も含む)1都7県の持ち回りで行われており、高校生ものづくりコンテスト全国大会に推薦する地区ブロックの役割を担っている。今大会は山梨県が事務局となり本県で実施する。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 関電研会員校に在籍し、各都県において推薦された生徒2名(学年は問わない)</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技□ 技能競技☑) 競技時間:120分 競技規則に従い、施工図および施工条件に示す配線工事を行う。</p> <p>④審査方法(審査員の構成及び審査員資格要件等) 審査員は、関電工株式会社の10名により、審査基準に基づき審査を実施。 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 1位から6位までを表彰する。 ① 本大会で1位になった生徒を高校生ものづくりコンテスト全国大会へ推薦する。 ② 2位～6位の中から1名が若年者ものづくり競技大会への出場権を得られる。 (ただし、次年度出場のため、現2年生及び1年生が対象となる) 一般財団法人電気技術者試験センターより上位2名に特別賞を授与する。</p>
参加者数	参加選手人数:16名 審査員人数:11名 運営事務局人数:18名 その他:56名
支援の内容	開催経費のうち、設営・機材費等の一部507千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 7

令和7年度第24回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト山梨大会  
兼 第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会

(関東甲信越地区電気教育研究会)

実施日：令和7年8月23日



表 8

項 目	内 容
支援事業名	高校生ものづくりコンテスト電気工事部門 北信越大会
目 的	公益社団法人全国工業高等学校長協会の主催により、各高等学校で取り組んでいるものづくりの学習効果の発表の場として、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会に向けて、北信越地区の5ブロックから選抜された選手が技能・技術を競い合い、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、及び若年技術者の育成を図ることを目的とする。
実施期間	令和7年8月29日～30日
開催場所	北陸電気工事株式会社 能力開発センター
主 催	北信越工業高等学校長協会(富山県立魚津工業高等学校)
協 賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 毎年、北信越地区5ブロック(新潟、富山、石川、福井、長野)が持ち回りで開催している。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 各県の電気系の工業高校生が、毎年開催される県大会(県予選)により、上位2名が選抜され出場する。</p> <p>③競技方法・競技内容 種目は全て技能競技である。高校生ものづくりコンテスト電気工事部門全国大会の課題に準じて設定。競技時間120分。「競技規則」に従い、「施工図」、「施工条件」に示す屋内配線の施工を正確に行う。</p> <p>④審査方法 審査員構成: 電気工事の経験を持ち指導員として従事する外部技術審査員(北陸電気工事株式会社の技術者)及び、技能五輪指導者(北陸電気工事株式会社職員)を含めた計3名</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 優勝者、準優勝者、三位2名 本大会については、高校生を対象とした大会であることから、試験センターの特別賞の授与による支援を希望する。</p>
参加者数	参加選手人数: 10名 審査員人数: 3名 運営事務局人数: 4名 その他: 36名
支援の内容	開催経費のうち、設営・機材費等の一部287千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 8

高校生ものづくりコンテスト電気工事部門北信越大会

(北信越工業高等学校長協会)

実施日：令和7年8月29日～30日



表 9

項 目	内 容
支援事業名	第30回配電工事安全技能競技会
目 的	配電工事安全技能教育の一環として、工事技能、安全作業及びお客さま対応の習得向上を図ることを目的とする。
実施期間	令和7年10月30日
開催場所	北陸電力株式会社研修センター
主 催	北陸電気工事組合連合会
協 賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 年1回、平成6年より毎年開催(令和元年、令和6年は中止)今年度が第30回目。北陸電力送配電(株)の配電工事を実施している北陸三県の外線・引込線施工者を対象とする。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 ・構成 外線工事 各県電工組より1チーム3名 計3チーム 引込線工事 各県電工組より1チーム3名 計3チーム ・参加資格要件 北陸電力送配電(株)の配電工事認定施工者</p> <p>③競技方法・競技内容 競技時間:90分 外線工事:飛来物接触による高圧断線と不良CF遮断器復旧工事 引込線工事:引込線無停電張替工事</p> <p>④審査方法(審査員の構成及び審査員資格要件等) 審査委員長:連合会配電委員(県電工組の電力部長)1名 審査副委員長:連合会配電委員(県電工組の電力部長)1名 審査員:安全管理指導員及び外線工事作業班長 各県4名 計12名</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 各1チーム ・外線工事(最優秀賞)当会長表彰状授与 副賞 カップ大、(優秀賞)当会長表彰状授与 副賞 カップ中、(努力賞)当会長表彰状授与 副賞 カップ小 ・引込線工事(最優秀賞)当会長表彰状授与 副賞 カップ大、(優秀賞)当会長表彰状授与 副賞 カップ中、(努力賞)当会長表彰状授与 副賞 カップ小</p>
参加者数	参加選手人数:18名 審査員人数:14名 運営事務局人数:23名 その他:191名
支援の内容	開催経費のうち、会場費等の一部971千円を支援

### 第 3 0 回配電工事安全技能競技会

(北陸電気工事組合連合会)

実施日：令和 7 年 1 0 月 3 0 日



表 10

項目	内 容
支援事業名	第37回引込および内線工事技能オリンピック大会
目的	中部電力パワーグリッド(株)管内の協会員※の電気工事技術ならびに技能の向上を図り電気設備における公共保安の確保と、お客さまサービスの向上に資することを目的とする。 ※協会員とは名古屋電気引込工事センターならびに静岡県・三重県・岐阜県・長野県・愛知県東部電気工事協力が共同受注契約を締結した電気引込工事センターと、下請負契約または共同受注契約を締結した工事をいう。
実施期間	令和7年11月6日
開催場所	中部電力株式会社人財開発センター配電研修所内線実習館
主催	中部電気工事協会連合会
後援	中部電力パワーグリッド株式会社
協賛	一般財団法人中部電気保安協会 公益社団法人日本電気技術者協会中部支部 電気安全中部委員会 電気新聞中部総局 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 昭和40年度から同56年度までは毎年開催 昭和58年度から隔年開催 前回大会は令和4年度(2019年11月7日) 継続事業:今回大会は37回大会となる。 開催エリア:中部電力パワーグリッド(株)管内 愛知、岐阜、三重、長野、静岡(富士川以西)</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 (1)チーム数 各県協会ごとに、1チームが出場する。 (2)チーム構成 1チームは3名の選手で構成し、内1名を作業責任者とする。 (3)出場資格 直営班または協力工事店(協会員またはその従業員であって、昇降柱訓練受講者であること。内線工事を実施する者は、第一種または第二種電気工事士免状の取得者であること。)ただし、過去10年以内の本大会で総合の第1位に入賞した選手は除くものとする。</p> <p>③競技方法・競技内容 競技は、実技と学科テストの2本立とする。 (1)実技 ア. 課題の範囲…引込、需給装置および屋内・屋側配線に関する工事を対象とする。イ. 出題方式…お客さまから申し込まれた新增設工事を対象とする。 ウ. 実技時間…組作業にて実働1時間40分程度で仕上げる内容とする。(実技時間の延長は認めない。) (2)学科 ア. 課題の範囲…第二種電気工事士として必要な施工技術・技能に直結した問題とする。イ. 出題方式…択一式で出題数30問とする。(学科25問、接遇に関する問題5問) ウ. 解答時間…30分とする。</p> <p>④審査方法(審査員の構成及び審査員資格要件等) (1)審査員:中部電力パワーグリッド(株)検査担当職員、中部電気工事協会連合会安全品質委員 出来栄え審査:(来賓)中部近畿産業保安監督部長、中部電気保安協会理事長他 (2)審査基準 ア. 実技…500点満点(実技・技能230点、安全230点、出来栄え20点、書類審査20点) イ. 学科…各選手毎に100点満点で採点し、チームの平均点により評点する。 (3)順位決定 実技と学科の結果をチーム毎に集計し、得点の多い順にチーム総合順位を決める。また、学科については個人毎に順位を決める。</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) (1)総合1～3位のチームに対し中部電気工事協会連合会賞、入賞認定シールを贈る。 (2)後援ならびに協賛者から、次のとおり副賞を贈る。 ・中部電力株式会社賞(総合1～3位) ・電気新聞中部総局賞(総合1位) ・中部電気保安協会賞(実技1～3位) ・日本電気技術者協会中部支部霜寿賞(安全1～3位) ・電気安全中部委員会賞(学科上位5名) (3)総合1～3位以外のチームの参加選手に敢闘賞を贈る。</p>
参加者数	参加選手人数:18名 審査員人数:57名 運営事務局人数:14名 その他:214名
支援の内容	開催経費のうち、設営・機材費等の一部1,000千円を支援

第37回引込および内線工事技能オリンピック大会

(中部電気工事協力会連合会)

実施日：令和7年11月6日



表 11

項目	内容
支援事業名	第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門
目的	公益社団法人全国工業高等学校長協会で行っている高校生ものづくりコンテストの電気工事部門で、全国9地域から選抜された9名と開催県代表の1名を加えた10名が技術・技能を競い合い、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、及び若年技術者の育成を図ることを目的とする。
実施期間	令和7年11月8日～9日
開催場所	徳島県立徳島科学技術高等学校
主催	徳島県立つるぎ高等学校
後援	四国工業教育研究会
協賛	一般財団法人電気技術者試験センター 株式会社関電工 株式会社四電工
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成11年から毎年で実施している大会(令和2年度のみ中止)であり、ブロックごとに順番で開催地を設定して大会運営に当たる。今回2025年の大会は四国地区が担当であり、徳島県で実施する。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 全国9地区の各都道府県で予選大会が開催され、勝ち上がった選手がさらに地区大会を経て、各地区1名の代表選手として本大会に出場する。また、開催県である徳島県には特別枠が設けられており、徳島県代表選手1名も出場する。</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技<input type="checkbox"/> 技能競技<input checked="" type="checkbox"/>)</p> <p>④審査方法(審査員の構成及び審査員資格要件等) 競技内容(競技種目 筆記競技<input type="checkbox"/> 技能競技<input checked="" type="checkbox"/>) 技能競技:第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会(電気工事部門)に準じて設定。競技時間120分。「競技規則」に従い、「施工図」、「施工条件」に示す電気設備の施工を想定した配線工事を行う。</p> <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 審査員は、外部審査員(㈱四電工の技術者)の7名により、審査基準に基づき審査を実施。 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況・美観を含めた施工技術・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 第1位から第3位までを表彰(賞状、盾、メダルの授与) 本大会については、高校生を対象とした大会であることから、試験センターの特別賞の授与により支援を希望する。</p>
参加者数	参加選手人数:10名 審査員人数:7名 運営事務局人数:29名 その他:58名
支援の内容	開催経費のうち、材料費等の一部368千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

第 2 5 回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門

(徳島県立つるぎ高等学校)

実施日：令和 7 年 1 1 月 8 日～ 9 日



表 12

項目	内容
支援事業名	第54回全九州技能競技大会
目的	沖縄を含む九州8県の電気工事業工業組合から選抜(推薦)された女性選手(最大8名)が、技術・技能を競り合い、安心生活と電気安全を支える技術技能水準の向上及び若年者の育成を図り、電気工事業の発展に期すために行うものである。なお、最優秀賞を受賞した選手は、九州ブロック代表として、2026年度の第6回電気工事技能競技全国大会に出場予定
実施期間	令和7年11月21日～22日
開催場所	熊本市民会館シアーズホーム夢ホール、ポリテクセンター熊本
主催	一般社団法人全九州電気工事業協会
後援	経済産業省 九州産業保安監督部
協賛	九州電力送配電(株) 一般財団法人九州電気保安協会 東芝ライテック(株) 東芝マーケティング(株) 全日本電気工事業工業組合連合会 (株)白十字安全 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 1968年から2017年まで毎年開催、2019年から隔年開催となり、沖縄を含む九州各県持ち回りで開催地として大会運営に当たっていたが、今回の第54回大会から女性の部の九州ブロック代表選考会に見直し、熊本県で開催する。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 全九州電気工事業協会の会員である各県電気工事業工業組合の所属員の中から選抜(推薦)された女性の選手(最大8名)</p> <p>③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技☑ 技能競技☑) 筆記試験:第二種電気工事士試験の出題レベル相当の問題を出題(30分) 技能競技:技能競技実行委員会において定めた課題並びに競技指示に基づき、安全で正確な施工を競う。(120分)</p> <p>④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 審査委員は当協会委員の2名(電気工事の実務経験を有した者)による通電試験並びに技術基準違反等について確認を行い、その後に公平性を期すため外部の審査委員(保安監督部、九電送配、保安協会、東芝ライテックの技術者4名)により、審査基準に基づき審査を実施 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目毎の減点方式 ・審査対象は完成品のみで、未完成は審査対象外 ・通電試験結果、不点灯や短絡したものや技術基準違反は失格</p> <p>⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 最優秀賞(会長賞+保安監督部長賞)1名(賞状、副賞、記念品) 優秀賞(会長賞+九州電力賞、沖縄電力賞)2名(〃) 入賞(会長賞+保安協会賞、全日電工連賞、東芝賞、白十字安全賞)5名(〃)</p>
参加者数	参加選手人数:4名 審査員人数:4名 運営事務局人数:15名 その他:57名
支援の内容	開催経費のうち、会場費等の一部344千円を支援

### 第 5 4 回全九州技能競技大会

(一般社団法人全九州電気工事業協会)

実施日：令和 7 年 1 1 月 2 1 日～ 2 2 日

